

株主の皆様へ
投資家の皆様へ

2020年5月29日

社長の茂谷と申します。

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延する中、当社の現状を説明すべく、このメッセージを書きました。少しでも、皆様にご理解を賜ればと思います。

ご存知の通り、当社はこれまで資産運用業界のインフラとして資産運用業務を支えるべく、様々なソリューションをワンストップで提供してまいりました。

また、この新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言下においても、サービスレベルを出来る限り担保すべく、サービスを提供し続けております。

まず、最初にはっきり申し上げたいのは、

当社は、日本でも有数の「コロナに負けない会社」であるということです。

こう言い切るのは、業績面と財務面でのしっかりとした裏付けがあるからです。

まず、業績ですが、前期（2020年3月期）はコロナの影響はなく、先日発表致しましたように当初予想を上回り、増収増益となりました。

今期（2021年3月期）につきましても、業績見通しを発表できない会社が続出する中、数値をしっかりと発表し、しかも増収増益の見通しを発表致しました。

実際の現場では、コロナの影響により、プロジェクトのスタートが延期となるものもありますが、中止となったものはほとんどありません。

逆に、今回お客様がテレワークを実施され、照合などのバックオフィス業務はテレワークに向かないことを実感されて、当社のSOサービス導入の必要性を痛感されたというお話も聞いています。

その点でも、当社の目指す来期（2022年3月期）の売上高50億円、そしてその先の100億円時のAMO/SOサービス比率50%も確実に見えてきているのではないかと感じています。

次に、財務面ですが、この状況下で当社の財務体質の盤石さが功を奏しています。無借金経営なのはもちろん、高い自己資本比率（85.7%）で安全性は証明されています。

また、現時点での当社の保有する現金換金可能資産は52億円強あります。

これは売上高の約1.2倍。そして、この額は当社全社員の年間給与とオフィスの年間賃貸料の合計の約2.5倍にあたります。

つまり、これは当社の売上高が0円になっても、2年半は大丈夫ということです。

この水準が実際に妥当なのかという議論はあると思います。
ですが、社員はこの数値により、少なくとも経済的には安心して仕事に取り組める状況にあります。

もちろん、当社にも課題はあります。

今回、コロナ対策費用で 3000 万円程投資をしましたが、コロナ後の「新しい日常」の中でお客様の大事なデータを扱う会社としてセキュリティを高めたテレワーク体制の確立が重要となってくるでしょう。

その確立にも真剣に取り組んでまいります。

いずれにしましても、当社は、日本でも有数なコロナに負けない会社であり続けるよう、今後も努力を続けてまいります。

皆様、どうぞエックスネットを今後も応援していただきますよう宜しくお願い致します。

株式会社 エックスネット

代表取締役社長

戎谷武彦